

おぞねっ子通信 2020

2020.8.28

4年生 エコ学習～ごみの減量にチャレンジ！～。

4年生は社会科で「住みよいくらし」のゴミ処理について学習をします。その学習の一環と総合の学習の「環境学習」に取り組むきっかけにと・・・教室に一つのフクロを持ちこみました。

これは、何でしょう？・・・「牛乳のラベル！」。そうです！大きめのビニール袋いっぱいに入った牛乳ラベルです。これは、あるクラスの1週間分の牛乳ラベルです・・・という「そんなに多いの？」という反応。これくらいの量が1クラスで1週間・・・1年間では・・・小曾根小学校の全部のクラスでは？・・・豊中じゅうの学校では？・・・子どもたちから次々と問いが出てきました。社会の学習がいつの間にか算数の授業に。計算して出た袋の数に驚き、そんなに多くのゴミになるのなら減らさなきゃ！と、みんなで実感していました。

さて、どう減らす??「ラベルを小さくすればいい」「丸めれば?」「丸めただけならまた元に戻るよ」と次々に意見が出され「4年2組だけでしても・・・」という話になりました。小さくする方法については、前任校の子どもたちが考えた方法を紹介すると「すごい！小さい、やってみたい！」と目を輝かせていました。さて、どうやって他の学年、クラスに伝えていく?と話す「放送で」「紙に書いて」「ポスターみたいに」「お兄ちゃんにも教える」というアイデアから「教えに行く!」となり「ポスターにやり方を書いて伝えればいい」と合わせ技が出てきました。でも、1年と6年生では教え方は一緒でいい?「あっ、そうか変えないといけない!」子どもたちは、主体的に、友だちに考えを聞きながら対話的に考えていました。実際、袋にいっぱいあったラベルを子どもたちが1枚1枚小さくおりたたんでいくと、もともとあった袋の5分の1くらいの大きさになりました。

4年生が全学年に発信する「牛乳ラベルのゴミ減量チャレンジ」。学びを深めながら学習が進んでいくのが楽しみです。

